

ながと日記 ぱーと2

長門市長 松林正俊

陰陽格差の是正



係機関に陳情してまいりました。地方の住民にとって、車社会の現代、欠くことのできない高速道路などの道路網の整備、また今もなお人々の貴重な足の一つとして活躍する鉄道の存続など、地域振興の要となる交通網

先日、山陰各地の市長さんや町長さんたちとともに、山陰自動車道の早期実現と、JR山陰本線「特急いそかぜ」の運行存続を、国や関

の整備は必要不可欠ですが、近代日本の発展の過程の中で、日本海側は、太平洋側に大きな差をつけられており、いわゆる「陰陽の格差」は云われて久しいものがあります。「過疎化・高齢化・一次産業の低迷・観光人口の減少」は、今回にもにした、首長の共通の悩みであり、それだけに山陰自動車道の実現や「いそかぜ」存続にかける想いは熱いものがあります。

地域の振興は、まず「ひと

もの」が動き、そして集まることから始まります。したがって交通体系の整備は「陰陽格差の解消」の中心課題として、早期実現に向け努力を重ねていく必要があります。「陰陽の格差の是正」…。古く、それでいて極めて新しいこの言葉が、これからの山陰地方の、重要なキーワードであるということが、私の胸の中に、あらためてズシリと刻み込まれた、そんな今回の陳情でした。



親子ふれあい幼児水泳教室 (広域学習事業)

8月3日、通小学校プールで親子ふれあい水泳教室が開催され、幼児・保護者約30人が参加しました。最初に村田通公民館長が「最近水の事故が多発していますので、しっかり頑張ってください」と激励の挨拶。その後、幼児・保護者は内山佳典(仙崎漁協勤務)さん指導のもと、真剣に泳いでいました。



日韓親睦交流20周年記念式典

8月23日、ルネッサながとで日韓親善交流20周年記念式典が開催されました。式典では、20年間の交流事業活動の思い出などが報告されました。アトラクションでは、長門大津管内の小・中学生による演奏・神楽、鎮海市による中学生の農楽が披露され、交流を深めていました。

